

結核のこと、知っていますか？

～長引く咳・・・それって、結核かも！？～

◆結核は過去の病気じゃないの？

結核は過去の病気ではありません。今でも全国で年間約1万人が結核を発病し、約1,600人が命を落としている重大な感染症です。

佐賀県では、令和5年は70人が新たに結核を発病しており、うち約7割が70歳以上です。

ただし、近年、働き盛りの若い世代が発病する事例も発生しています。



◆結核ってどういう病気？

結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。

痰（たん）の中に結核菌がいるような重症の結核患者の咳やくしゃみで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを直接吸い込むことで感染します（空気感染）。

◆“感染”と“発病”は違います！

感染しても、免疫の働きにより発病を抑えることができるため、発病するのは感染した人の1割から2割です。感染後2年間で最も発病しやすいと言われています。

◆症状が風邪と似ているので要注意！

結核の初期症状は、咳、痰（たん）、微熱、だるさ、食欲不振、体重減少などがあります。

咳が2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。

ただし、高齢者の方は咳などの症状が出ない場合があります。微熱やだるさ、食欲不振などが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

◆早期発見が一番大切！ 年に1回、胸部X線検査を受けましょう

結核は、早期発見・早期治療が重要です。

お住まいの市町の検診や職場健診・人間ドックなどで、年に1回は胸部X線検査を受けましょう。

もし異常を指摘されたら、必ず専門の医療機関で精密検査を受けましょう。



毎年9月24日から30日は結核予防週間です！

